

青森県三沢市立 岡三沢小学校

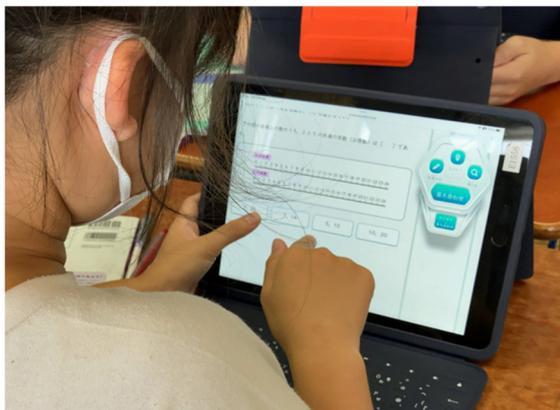


分きたい！に 応える eライブラリ

～前進したいと頑張る誰もが、学び、力をつけられる～

児童一人ひとりで異なる興味関心や意欲に応えるツールの一つとして、eライブラリを役立てている岡三沢小学校。休み時間を含め、タブレットは児童が自由に使って良いそうで、eライブラリも活発に利用されています。今回は、eライブラリを利用して得られた効果や利用のポイントを、先生方に伺いました。

レディネスを揃え、本時の学習に参加しやすく



算数 5年：通分

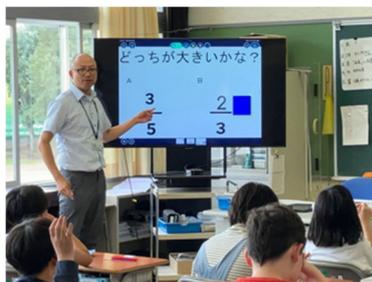
めあて 分母がちがう時の分数の大きさのくらべ方を考えよう

下山先生の授業では、はじめに既習事項から、本時のポイント「公倍数」と「約分」を含む教材を「教材指定学習」で出題し、考え方を復習しました。

本時の内容に入る前にレディネスを揃えることで、グループ活動や全体共有の場への**参加しやすさが増し、児童の発言は一層活発になり、理解も深まります。**

▲ グループで声を掛け合いながら、ドリルにチャレンジします。

また、下山先生は、授業や宿題でeライブラリで出題した後、モニタリング機能を活用しているそうです。その単元を苦手としている児童、気になる児童の正答率を見て、必要に応じ個別フォローをしています。



▲ めあてである「くらべ方」に気づき、説明できています。

インタビュー eライブラリを利用して得られた効果

4年生			5年生		
単元		到達率	単元		到達率
角とその大きさ 垂直と平行と四角形	Aさん	40	合同な図形	Aさん	63
	Bさん	69		Bさん	73
1けたでわるわり算 小数	Aさん	45.8	小数のかけ算 小数のわり算	Aさん	60
	Bさん	60.8		Bさん	77.5
割合	Aさん	40	割合	Aさん	70
	Bさん	50		Bさん	50

授業、宿題や隙間時間で、eライブラリのドリルをよく使います。だからこそ学習効果があるのか、定着に結びつのか、気になりました。

そこで、4年生（eライブラリ本格運用前）と、5年生（運用開始後）で、算数の同分野の到達率（eライブラリ確認テストの正答率）を比較しました。

結果は、上表のように、多くの単元で到達率が上がった児童が複数いました。中でも中～上位層の伸びを実感しています。もちろん、児童の変化には様々な要因が考えられます。ですが、eライブラリを利用する場面を増やし、プリントを配らなくても**児童が自らドリルを使い、演習の機会が増えたこと**、AI型の特長である**個に応じたドリルが利用できたこと**は、要因として大きいと言えます。



5年担任 情報担当
下山 直人 先生

岡三沢小学校の三人の先生と、児童に、eライブラリについて伺いました。

1年担任 村中 美佳 先生

タブレット、eライブラリを使うときは、慣れるために一齐に使うことが多いです。写真を撮ることなどから始め、eライブラリは6～7月頃から使い始めました。

既に家庭で端末を利用している児童もいて、操作の慣れには個人差があります。児童には「分かる人は教えてあげてね」と声を掛けています。

3年担任 前川 洋満 先生

授業はじめのウォーミングアップに、いろいろカード帳を利用しています。3年生では、ローマ字が「パッと出てくる」ようになってほしいので、教室のモニタに映して、触れる機会を増やしています。

プリントなどでは意欲が低かった児童も、eライブラリのドリルを使う学習は嬉しいようです。興味関心に応じて先へと進み、「解説教材」を一所懸命読んだり、友達と楽しそうに教え合ったりしています。



▲ いろいろカード帳
小学3年 国語「ローマ字」

5年担任 下山 直人 先生



▲ 保護者サービス

登校してきた児童から順にeライブラリを始めることを習慣化しています。選ぶ教材は児童各自に任せることもありますし、既習単元の復習や、直近の単元の定着をねらって「教材指定学習」を利用することもあります。

eライブラリを宿題にも利用しているので、児童の頑張りが気になる方は是非登録を、と「保護者サービス」をおすすめしています。

児童の声「eライブラリの楽しいところ、良いところは？」

- 問題を、基本、標準、挑戦から、自分で選べるところです。
- 終わったら「絶好調だね」と褒められる言葉が嬉しいです。
- 「タイルマップ」で得意なことを伸ばせるから楽しいです。
- 間違えてしまっても、解説を読んで、どうやれば良いか分かるところです。



▲ 「テーマ学習」で表示される応援のメッセージ。

インタビュー 個に応じた学びを保証する、頼れる味方

eライブラリは以前の勤務校でも活用していました。当時から、**児童の「分かりたい！」という気持ちに**応えてくれると感じていて、そこで、岡三沢小学校でも、先生方へ積極的な活用を勧めています。

タブレットを児童全員が使える今、やる気さえあれば誰もが、eライブラリのA I型ドリルで選ばれる個に応じた教材で、どんどん学び、力をつけていけます。**自宅に持ち帰ればその分、家庭学習の充実にも繋がります。**

eライブラリなら教材準備、採点、集計の**時間をかけることなく、教員が児童一人ひとりの成果を把握**でき、とても頼りになります。



校長 村上 輝仁 先生